

全国骨・軟部腫瘍登録研究施設において

脛骨に発生したアダマンチノーマで治療を受けられた方へ

「全国骨・軟部腫瘍登録を用いた本邦における脛骨に発生したアダマンチノーマの記述疫学研究」へご協力をお願い

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 土橋 和文

研究責任者 札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 助教 清水 淳也

研究分担者 札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 講師 江森 誠人

札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 助教 村橋 靖崇

1. 研究の概要

1) 研究の目的

「アダマンチノーマの治療成績向上」に関する研究を行っています。アダマンチノーマの治療成績を検討して、治療成績向上のために改善すべき点を解明する研究を開始しました。

2) 研究の意義・医学上の貢献

この研究で得られた成果は、札幌医科大学附属病院の患者さんに限らず、全国の同様の疾患の患者さんの治療に貢献し、多くの患者さんの治療成績向上につながることを期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

脛骨に発生したアダマンチノーマと診断され、全国骨・軟部腫瘍登録に、2006年から登録された患者さんが該当します。

2) 研究機関

病院長承認日から2024年3月31日までです。

3) 予定症例数

当院1症例(全体30症例)を予定しています。

4) 研究方法

全国骨・軟部腫瘍登録のデータベースを利用し、脛骨に発生したアダマンチノーマの情報収集を行い、患者背景、腫瘍背景、治療情報、予後情報を集めます。腫瘍の大きさなどの臨床情報と手術術式及び再発、転移、生存期間などを検討し、再発・予後因子を解析します。

5) 使用する情報

本研究では匿名化された情報のみしか使用しません。分析の際には氏名、生年月日などあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は研究の中止または研究終了後10年間、札幌医科大学附属病院整形外科学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワードで管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際には臨床研究審査委員会(倫理委員会)にて承認を得ます。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 助教 清水 淳也

8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了承ください。

9) 研究に関する問い合わせ等

この研究に関するご質問がございましたら下記連絡先までお問合せください。

あなたを特定できる情報は、すでに削除された研究のためのデータが作成されているので、研究についてお問い合わせにお応えすることは可能ですが、あなたのデータを削除することができません。あなたが誰であるかわからない形にして、研究者の集まる学会での発表や学術論文で公表をしますので、ご了承ください。

(問い合わせ・連絡先)

臨床研究責任者： 清水 淳也 (助教)

札幌医科大学 医学部 整形外科

平日(9時～17時): 011-611-2111(内線 33330)

夜間(17時～9時)・休日：

札幌医科大学附属病院 4階西病棟(内線 33410)